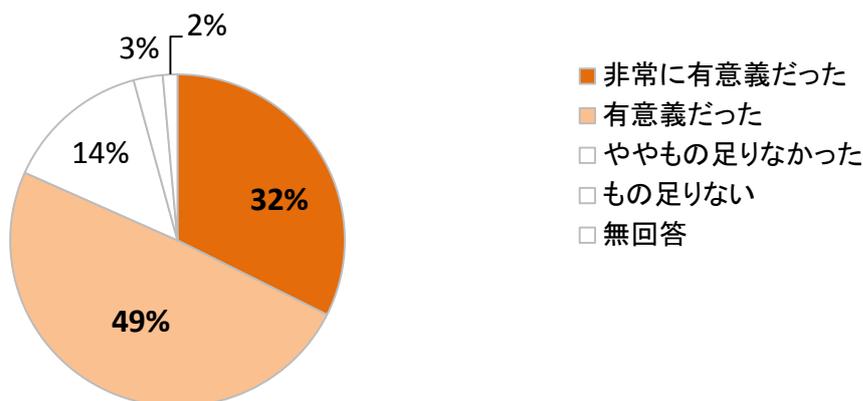


がんばっている地域の情報共有会

◎日時・場所 3月4日(土) 10:30~15:00 男女共同参画センターあすてらす

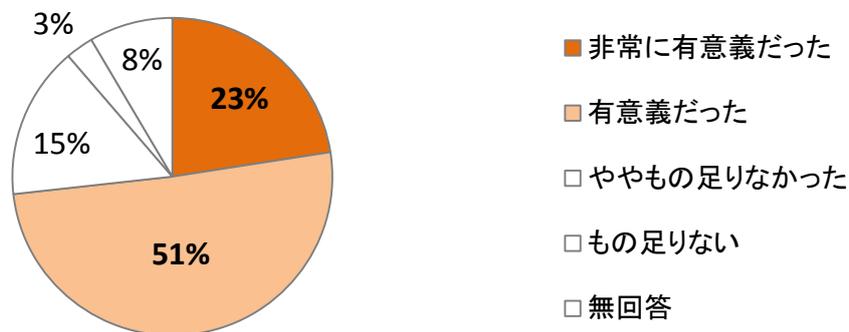
参加者 アンケート結果 総出席者数187名
一般及び地区出席者145名 (回答率約50%)

[午前の部] 現場支援地区の取組状況報告



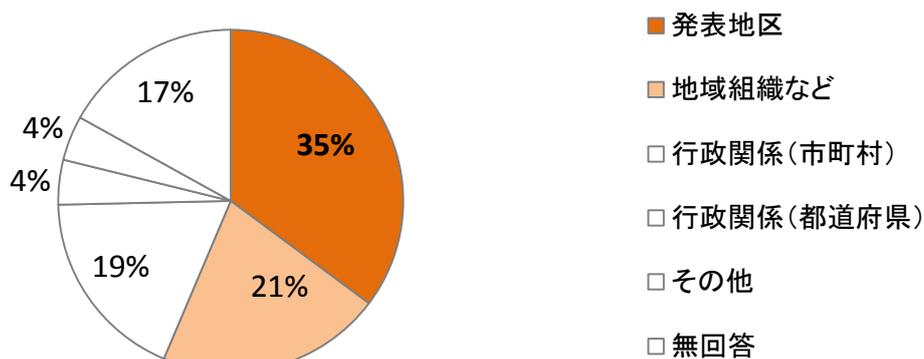
- ・発表(説明)時間が短い。1地区5分では物足りない。10分は欲しい。[時間不足の意見多数]
- ・色々な地区の話を聞けて良かったが、発表地区を絞って時間を割いた方が良いのではないかと。
- ・もう少し時間があれば更に良かった。今後の取組を継続していけるようにしなければならない。
- ・発表の時間が短く消化不良の感あり。外貨を稼いでいる取組事例があればと思った。
- ・もう少し深掘りしても良い。もう少し深掘りした内容が知りたかった。
- ・各地区の頑張っている取組が良く分かったが、5分という時間は短く、もう少し聞きたかった。
- ・発表地区数が多く時間不足、発表内容(項目)を統一して発表できないか。
- ・将来の目標や進行状況は各々だが、共通しているところも多々あり参考になった。
- ・いろいろなアプローチによる地域課題解決方法を知った。やっているからこそその更なる課題があることにも気づいた。
- ・皆それぞれ地区に合った活動をされていると思った。
- ・悩みは同じだが、特色は別なのでお互いに利用できるものが見つかる。
- ・どこの地区も高齢化等で大変な中、頑張っておられるのが分かり、私達の地区も頑張ろうと思った。
- ・福祉に力を入れているので、民谷や志々地区などの実践事例が大変参考になった。カッコいい大人たちの背中をみて、子供たち・次世代につながる。
- ・どの地区も課題をしっかりと捉えて、皆で課題解決に向けて取り組んでいるところが素晴らしい。
- ・時間が短い中でも14地区共通の思い・課題が見え、我が地域にも当てはまることであり、勉強になった。人を動かす仕掛けを熟慮していきたい。
- ・県内先進地の状況や課題を聞くことができ良かった。
- ・一般的に女性の参画が少なく、女性のパワーが欲しいといわれるが、女性が頑張っている地域は頑張っている。
- ・短時間に多くの事例紹介があり、興味のあるところを見つけることができた。
- ・他の地区の取組がすごく参考になり、今後は他の地区と情報の共有を図りたい。

[交流会]各ブースでのポスターセッション・交流

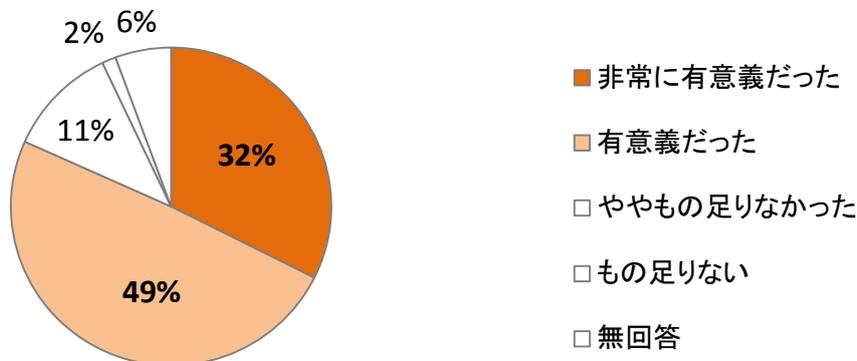


- ・具体的な取組を直接聞くことができ、とても参考になった。
- ・各地区の思いや悩みは違っても、何とかしたいと思っている人が集まっている。
- ・もっと掲示物等があれば良かったと思う。
- ・ブース内容をもう少し充実した方がPRにつながったのではないかな。
- ・対応者の能力にバラツキがある。
- ・他地区の取組内容や特色を知ることができた。
- ・各ブースで詳しく聞きたかったことを聞く機会となった。
- ・気になったことを深く聞くことができて良かった。
- ・午前部の部でもっと聞きたいと思ったブースで詳しく聞くことができて良かった。
- ・全体の報告では聞けないことを個人的に聞くことができて良かった。
- ・興味のあるところに直接出向いて情報を得ることができた。
- ・発表会で伝え切れていないことを聞くことができた。
- ・他の地区との交流ができて良かったので、今後自由に行き来できるようにしたい。
- ・1人が長く話を聞く時間が取れない状況だった(仕方ないですが)。
- ・各ブースに1名しか説明者がいないと待たされるので、複数名での対応が望まれる。

※参考 回答者の属性

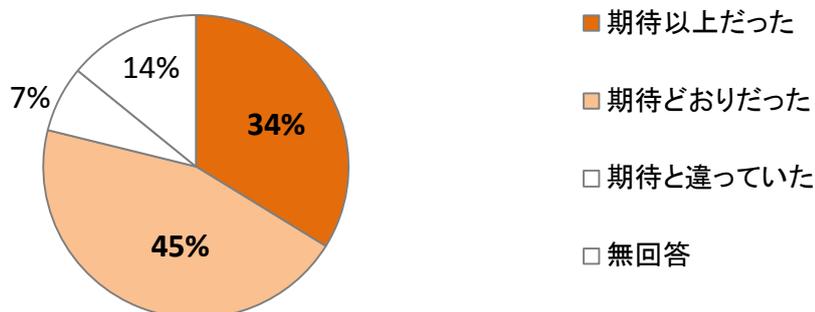


[午後の部] 県外事例報告及び意見交換会



- ・島根県においても地域へのマンパワーをお願いしたい。
- ・連絡協議会の取組は、課題の共有など1地区で悩まない仕組みにもつながっていると思う。
- ・集落活動センター間の相互交流を図る目的で設立された協議会の効果検証をして欲しい。
- ・全体概要に加え、詳細な内容の説明が聞きたかった。
- ・高知県に限らず、県職員の配置転換のサイクルが短く、専門性を身につけた人材が育たないような気がする。
- ・県全体の活動が明示されると、地域活動への活力にもなるし、モチベーションアップの一助になる。島根県も再度分かり易い資料をつくってはどうか。
- ・集落活動センターと公民館の関係をもう少し詳しく聞きたい。
- ・高知県の取組の深さを知り学ぶことができた。
- ・高知県の先進的な取組が良く理解できた。
- ・高知県のパワーを感じた。山中課長補佐はすごい。
- ・行政のしくみや横のつながり(他地域同士のつながり)構築について考える機会となった。
- ・県を挙げての取組は、他になく支援体制も充実していることから、島根県においてこのような仕組みが展開されることを期待したい。
- ・ワークショップを徹底して行ってから立ち上げた点が非常に参考になった。
- ・大きな枠での取組であり、もっと私達の地域に密着した情報が知りたかった。
- ・方向は良いと思うが、身近な内容に思えなかった。
- ・資料の情報が盛りだくさんでとても見えにくく分かりにくかった。
- ・知識を得ることは良かったが、県や市町村行政の方に聞いてもらえば良いのではないか。
- ・どこの地域も、色々な課題に向かって、その地域にあったやり方をしておられる。
- ・各地区の課題をもっと深掘りして欲しかった。
- ・各地区の熱い思いが伝わってきた。
- ・先進的取り組みをしている地域・団体の報告を聞くことは有意義。ただし、時間的制約から多くを聞けないことが残念。

【全体】情報共有会の構成等



- ・近くの異業種、遠くの同業者のつながり・関わり合いからの気づきが大切。
- ・小さな拠点間の情報交換が自由に行える仕組みは是非必要。
- ・もう少し特別な成功事例も欲しかった。
- ・地域の取組を1つの漢字で表現できるほど信念を持っておられると感じた。
- ・今頑張っていることなどを漢字1文字で表す手法がおもしろかった。
- ・もっと各地区で苦労された所が聞きたい。関心度の低い住民を巻き込んでどのようにして一緒に活動していくのか、皆さん少しかれいすぎないかと感じた。
- ・始めて参加したが、「来年は誰か一緒に拠点づくりに取り組みたい。」と思った。
- ・コーディネーターがおもしろい。パネラーの意見をうまく引き出している。
- ・今は身近なことに目を向けており、少し先の内容に思えた。
- ・具体的な意見が聞けて良かったので、他地区との連携は進めてみたいと思う。
- ・6名のパネラーの方々の意見は、今後にとっても役立つ内容だったので、それを参考にし、地域の活性化につなげたい。
- ・藤山コーディネーターの司会がさすが楽しかった。
- ・リーダー・責任者の苦労や意気込みが伝わった。どうやって目指すところを絞ってきたか知りたい。
- ・生活交通の確保に向けた制度規制にどう対応していくか。
- ・始めて参加してとても良い取り組みだと感じた。
- ・追いつけるように頑張りたい。
- ・次回も楽しみにしている。
- ・交流を深めたい。
- ・参加して良かった。
- ・継続が有効である。

【取組状況・事例の内容について】

(1) 報告地区の取組内容で良い点、参考になった点

- ・[宇波]: 特に重要な課題であった「交通弱者対策」をきっかけに、ビジョン作成につなげていったところ(住民の気運を高める)。
- ・[多伎]: 地域の活性化に向け、特産品の開発・販促を軸において活動してる点が良い。ものづくりは、つくる人も買う人も喜ばすことができる。
- ・[民谷]: 買い物支援をするに当たり、アンケートではなく、一人一人に聞き取り調査をされ、移動販売という方法にたどり着かれたこと。黄色い旗。
- ・[塩田]: 除雪ボランティア、除雪機を持っているので広く対応できている。買い物バス→自分の地区でもできそう。
- ・[志々]: 未来予想図をもとに具体的な実施内容が良く伝わった。
- ・[志学]: シン汁美味しかった。
- ・[川本北]: 全住民参加型の取組は参考になり、例えば、自治会組織との連携はベストだと思う。
「まず動く、動くと見えてくる」が素晴らしいと思う。地域によっては「まず動く人」がいないところもあるので、この人をどうするかも地域によっては課題であると思った。
「とにかく動く」いい言葉だと思う。動かないと分からないことがたくさんあると思う。
取り組みを進めていくキーワード「動く人(やれる人)」が大事なので、今後動ける人とつながっていききたい。
- ・[比之宮]: 身の丈にあった活動・取組をしていると感じた。
- ・[出羽]: 先を走っている地区らしいアイデアや組織があり、地元民を活用する方法が参考になった。
- ・[市山]: まごごろ市が参考になった。
- ・[井野]: まちづくり推進委員会INO設立の経緯でアンケートやワークショップをやった上で設立されたところが参考になった。
- ・[道川]: 地区のリーダーがしっかりと引っ張って行かれており、リーダーを育てることの重要性を感じた。合意形成の仕組みや若者の参画が素晴らしい。
- ・[木部]: 交通安全の看板作りを地域の子供たちと大人で行う活動は目新しかった。高齢者との交通の取組は良くあるが、ちょっと若い世代(だと思われる)の大人との共同作業が良い。
- ・ケーブルテレビで買い物の注文ができる仕組みを詳しく聞きたい。
- ・どの地区も“ひと”“もの”“こと”を活用された活動であり参考になった。地域を動かす組織づくりがうまく機能していると思った。
- ・同様の課題を抱えているのでとても参考になった。

(2) 報告地区の取組内容で改善点、アドバイス

- ・支援方法の紹介もあると良い。
- ・内向きの活動が主になっている地区があり将来が心配。
- ・それぞれに苦労があり大変さが良く分かった。
- ・どこの地区も、協力体制、住民の理解・共有が共通の悩みと思った。
- ・少子高齢化が進む中、持続可能な地域を創っていくためには、地域循環の仕組みを構築していく必要があると感じた。また、人口拡大を図るためにも、どのような対策をとるべきか皆で考えていく必要がある。
- ・各々の自慢大会にならないよう、課題と取組の共有ができれば良いと思う。

【情報共有会・交流会の必要性について】

- ・本日のような交流会を県内何カ所かで行ったらどうか。自らを振り返るためにも他地区の取組を知る機会が増えれば良いと思う。
- ・前回、今回と参加して情報共有会・交流会は必要である。毎年、継続されることを望む。例えば拠点連絡協議会のようなもの。
- ・1泊2日程度での発表と交流会があったら良いと思う。
- ・何を行うにも人のつながりが必要なので、何らかの集いは必要だと思う。
- ・フラットな会場の方が交流しやすいと感じた。こうした機会は、できるだけ増やして欲しい。
- ・重点地区以外の人や地区の中心メンバー以外の人も参加できるように、県内地区別(5カ所くらいで)開催して欲しい。
- ・今回は「発表という型の交流」であったが、各々の地区が足元を固める目途が立った後は、地区の特色を生かした地区毎の交流ができると良い。
- ・今後もこのような交流会が発展していけば、次の方向性が見えてくると思う。
- ・交流をして、お互いに刺激しあうことは大切だと考える。
- ・各地区の特産品の販売があると良い。
- ・50代、60代の方の参加が多いと良いと思う。
- ・「来年は仲間を連れてこよう。」と思った。
- ・交流会を少し長い時間でやってみたい。
- ・他の自治体の地域組織の取組を聞くことができ、とても考えること(気づかされること)が多く良いと思った。住民同士の話し合い、自主的な取組を行うことが大切だと思った。
- ・色々悩むことも多く、情報と知識を得ることは必要であり、今後も続けて欲しい。もう少し絞った地域で深く勉強したい。
- ・各地区の取組を共有することで、お互いの取組に刺激を与え、地域力の向上につながると思うので、今後もこうした場の開催を希望する。
- ・初めての参加であったが、必要性は多いに感じているので、続けて欲しい。
- ・「つながる」ということは力が生まれる。どんどん議論し、磨き合うことが必要ですね。
- ・毎年、町づくり活性化の地区が増えており、それらの横の交流会があっても良いと思う。
- ・このような交流の場が、今後も必要だと思う。できれば、小グループごとで内容の深まるような交流が欲しい。
- ・他の地区の皆さんと交流できることは有意義。活動内容を交換することでスキルアップできる。発表の中で分からないことを交流で補完できる。
- ・地域外の人との交流で生まれるものがたくさんあるので、情報交換会は必要だと思う。
- ・全体的な交流会で取組が理解できて良かった。主催者側は、地区間の仲立ちとなって、更なる活性化を後押しして欲しい。
- ・必要だと思うので、今後も是非お願いしたい。
- ・必要だと思うので、来年も実施してください。
- ・次回も参加したい。
- ・今後も是非開催して欲しい。
- ・継続して欲しい。
- ・これからも続けて欲しい。
- ・まず、やれることからやらなければ長続きはしないと思う。